

# 2021年リーグ戦開催マニュアル

2021/04/01

第1版

東京都社会人サッカー連盟

## 1. はじめに

2021年度の東京都社会人サッカーリーグは、新型コロナウイルス感染症の感染が収まらない中での開催となります。その為、参加チームはしっかりとした感染対策を実施してリーグ戦に臨むことが必要となります。参加されるチームは、新型コロナウイルス感染症感染防止のためのルールを順守し、リーグ戦に参加することをお願いします。

## 2. 基本方針

試合を実施する現場では、新型コロナウイルスの感染が起きないように努力する。

また、感染が疑われるような症状がある場合は、試合に参加させない。

選手、コーチ、監督、スタッフなどが発熱・咳・倦怠感などのコロナ感染の症状があった場合は、必ずチーム責任者に報告をさせて他に迷惑がかからないよう対応するとともにリーグ責任者への報告など適切に対応する。

チームは、選手、コーチ、監督、スタッフを守る、観客を守るという視点から新型コロナウイルス感染症防止対策を行った上で、リーグ戦に参加することとします。

## 3. チーム(選手、役員、参加者など)がやるべきこと

まずは、日常生活において、JFA、東京都などから出されている新型コロナウイルス感染症防止対策を順守して感染しない、感染させないように努めていただき、その上でリーグ戦への参加をお願いします。

- ① 日常において検温を実施し、37.5℃以上の熱がないことを確認する。
- ② 咳、倦怠感などの体調異常の症状が無いことを確認する。
- ③ 前日迄に体調異常など新型コロナウイルスの感染が疑われる症状がある場合は、試合には参加しない。(させない)
- ④ 万が一、試合前日、試合当日に新型コロナウイルス感染症の・感染者・感染の疑いがある選手・スタッフが出た場合にはチーム責任者は、対象者を来させない、帰宅させるなどの措置を行う。リーグ委員長に報告し、その後の試合実施可否などの指示を仰ぐこととする。
- ⑤ 試合会場までの移動時、会場に到着後も「マスクの着用」を徹底する。
- ⑥ 更衣室など人の集まる場所での密集を避け、大声を出さない。
- ⑦ チームは、試合会場に「体温計」を持参し、必要な時に検温ができるようにすること。
- ⑧ 試合会場に消毒液、石鹼などを持参し手の消毒、手洗いを励行し感染防止に役立てる。
- ⑨ 不測の事態発生に備えてチームは、当日の「試合参加者名簿」を作成し、参加者の追跡が出来るようにすること。(2ヶ月間、チームの責任で保存する)  
・試合参加者名簿により、試合会場到着時の体調異常有無を確認すること。  
異常「有」の場合は、帰宅など適切な対応をとること。

#### 4. 試合前、試合後の注意

試合会場では、選手などが密にならないように工夫すること。

##### ① 更衣室の利用

- ・密になることを避け、時間差利用、可能な限り「人」と「人」の間隔が取るよう配慮する。
- ・換気がされていることを確認する。(換気扇、窓開けなど)
- ・大きな声を出してしゃべらないなど注意が必要。
- ・マッチミーティング時は、間隔を空けて「マスク着用」で行い、密にならない場所で実施すること。換気の良い広い場所か外で実施するなど状況により対応のこと。

##### ② チームミーティングの場所

- ・密集しない場所で行うこと。
- ・更衣室内などの室内で行う場合は、選手間の間隔が取れることとする。  
間隔が取れない場合は、極力、外などの換気の良い場所で行う。

##### ③ ベンチ内は、間隔を空けて着席する。

##### ④ ベンチアウト時の選手、役員のハイタッチは、行わない。大きな声を出さない。

##### ⑤ 試合前の審判による用具チェック

審判員の所に一人一人行き用具チェックを受ける。受けた後は、ピッチ内に入る。

##### ⑥ 試合前のセレモニー(整列、挨拶、握手など)は省略すること。

#### 5. 試合開始前から終了後まで

・試合は出場している選手以外は、必ず「マスク」を着用してください。

・試合では、原則、前後半1回ずつの飲水タイム(1分程度)を設ける。(コロナ対策)

熱中症対策(WBGT28℃以上)で前後半2回ずつも可とする。

(熱中症対策でクーリングブ레이크は実施しない)

飲水用のペットボトル(スクイズボトルなど)は、個人用を用意し選手同士の共用はしない。また、試合中の飲水は、飲み捨てのペットボトルなどを用意して、ピッチ周りに置き飲み捨てにて飲水する。(注)“口に含んだ水は、フィールドには、吐き出さない”

##### ① 試合開始前

- ・審判員による用具確認時は、選手、審判が1m以上の間隔をとり離れて行うこと。
- ・審判員、選手間の試合前の握手行わない。(挨拶のみ)
- ・ベンチは、間隔を空けて着席する。間隔がとれない場合は、ベンチ外の所定の場所(ベンチ近くの空きスペース)で間隔を空けて座るなど工夫することも可。

##### ② 試合中

- ・得点時の選手同士の喜び、役員との喜びは手を触れることの無いようにすること。
- ・大声は、極力控える。
- ・本部要員は、間隔を空けて業務を遂行する。

### ③ 試合終了後

- ・整列後の審判員、相手選手との握手、ベンチへの挨拶は行わない。
- ・更衣室での着替えは、交替で行い密にならないように配慮する。
- ・速やかに帰宅する。

## 6. 無観客、有観客試合について

今年度のリーグ戦は、緊急事態宣言中の場合は、無観客試合とするが、そうでない場合は、通常通り(有観客試合)の試合観戦とする。

### 【無観客試合】

- ・ホームページなどで告知して試合観戦をさせない。
- ・参加者は、選手、役員、チーム関係者とする。

### 【有観客試合】(2021年度)

通常通りの試合観戦を可とするが、コロナ感染防止の為、密集を避けた試合観戦を実施すること。また、状況に変化が発生した場合は、都度連絡する。

- ・マスクを着用しての観戦をお願いする。
- ・大きな声を出しての応援はさせない。
- ・その他、一般的な感染対策を守って試合観戦させる。

## 7. 試合を中止するケース

必ず各部署委員長に速やかに報告し指示を仰ぐこと。

- ① 試合前日までに、チーム選手、役員などに新型コロナウイルス感染症の定義における・感染者・感染の疑いがある者が出た場合、チームドクター・近隣医療機関・保健所に相談をして指導を仰ぐこと。

※チーム内で多数の濃厚接触者が判明し、チーム活動継続が困難な場合には、その試合を延期もしくは、不戦敗にするなどの措置を行う。

- ② 試合会場で万が一、体調不良、発熱など新型コロナウイルス感染症の定義における・感染者・感染の疑いがあると思われる症状の選手、役員、審判員が出て試合続行不可能と判断される場合は、試合を中止する。

### 【用語定義】

- ・感染者とは:PCR 検査で陽性反応の結果が出て、新型コロナウイルス感染症が確認された者
- ・感染の疑いがある人:新型コロナウイルス感染症の症状やそれを指し示す症状がある人、また濃厚接触後に検査結果を待っている状態の人。